

---

---

平成20年3月期  
**中間決算説明会**

---

---

理想科学工業株式会社  
平成19年11月6日

# 目次

---

1. 経営方針	Slide	3～5
2. 平成20年3月期中間決算総括	Slide	6
3. 平成20年3月期中間決算業績概要	Slide	7～11
4. 平成20年3月期中間活動サマリー	Slide	12～15
5. 平成20年3月期業績予想	Slide	16～17

# 経営方針(1)

---

## 第三次中期経営計画 “Riso Vision 10”

### 【経営目標】

IJ事業・孔版事業において新規顧客の獲得を重要課題として取り組み

連結売上高 1,000億円

連結売上高営業利益率 10%

を目指す

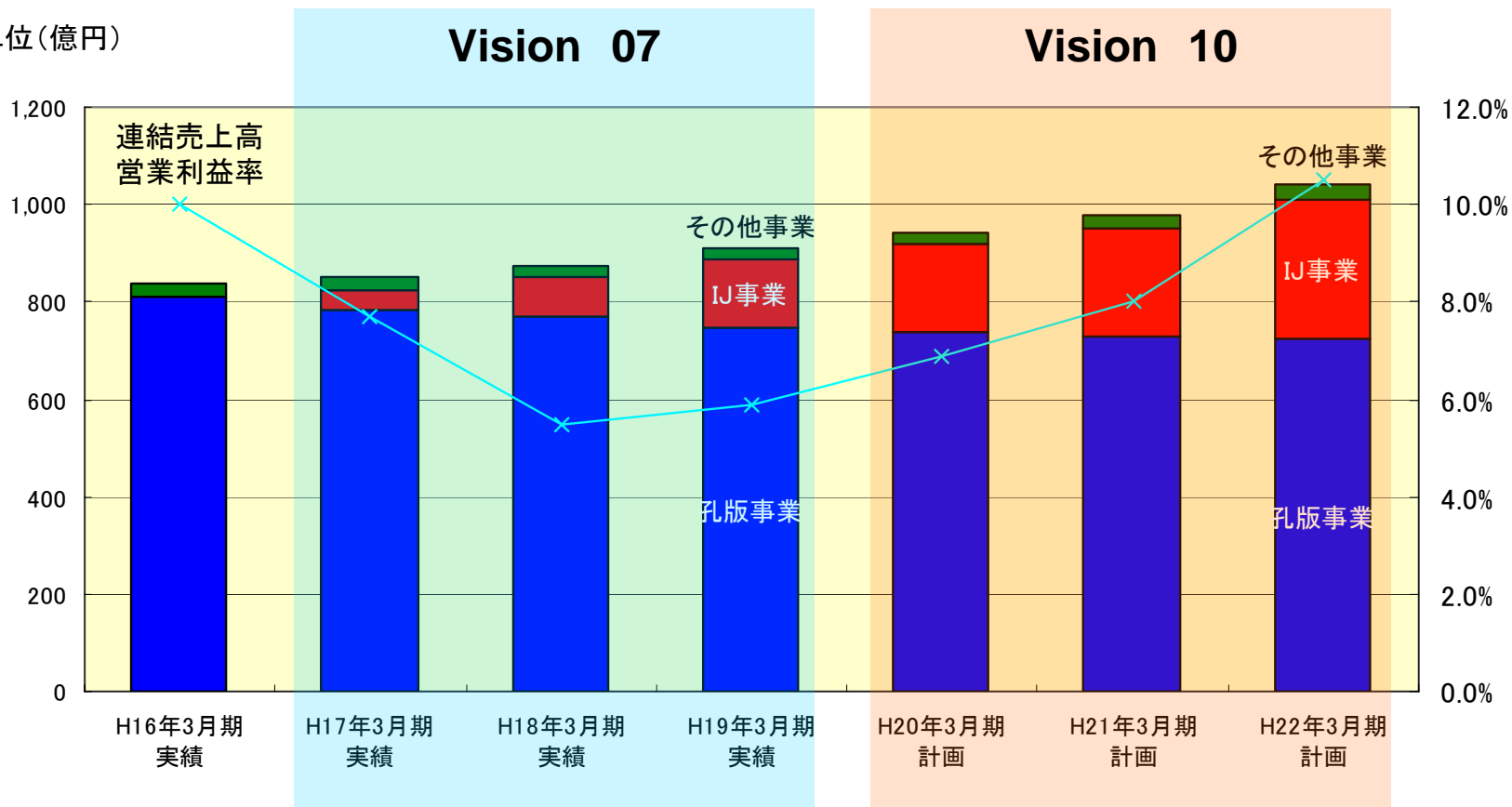
### 【基本方針】

1. インクジェット事業におけるハード設置の更なる加速
2. 孔版事業における新規顧客獲得
3. 新たな柱となる事業の創出
4. 事業環境変化を先取りした開発・技術・製造投資の実行
5. リーダー人材を創出する企業風土の醸成
6. CSR活動推進による企業価値の向上

# 経営方針(2)

## 第三次中期経営計画“Riso Vision 10”

単位(億円)



(注)その他事業(不動産・プリントクリエイト等)

# 経営方針(3)

---

## 平成20年3月期重点課題

- 直販力の強化及び的確な販売店支援の実施
- 海外販売子会社の活性化と体質転換
- 新規事業基盤の構築
- 品質・安全面に重点をおいた生産活動
- 内部統制システム構築の推進

# 平成20年3月期中間決算総括

---

## 増収増益

- 売上高
  - 前年同期比9億3000万円の増収
  - インクジェット事業(オルフィス)
    - 欧州で好調を持続
    - 連結売上高の約19%を占める
  - 孔版事業(リソグラフ)
    - アジア好調だが、国内・欧米で減収
  - 為替影響
    - 売上高で約15億円プラス
- 営業利益
  - 前年同期の水準に終わる

# 平成20年3月期中間決算業績概要(1)

## 連結業績

(単位:百万円)

	平成19年 3月期中間	平成20年 3月期中間	対前年実績差異	
			金額	%
売上高	42,601	43,535	933	2.2%
売上総利益	21,966	22,580	614	2.8%
営業利益	2,280	2,279	-0	-0.0%
経常利益	2,250	2,358	107	4.8%
当期純利益	1,292	1,321	29	2.2%
為替レート (期中平均)	円/US\$	115.38	119.33	
	円/EURO	145.97	162.30	

# 平成20年3月期中間決算業績概要(2)

## 事業別売上高

(単位:百万円)

	印刷機器関連事業	不動産その他事業	合計
平成20年3月期中間	42,979	556	43,535
前期比(金額)	936	-2	933
前期比(%)	2.2%	-0.4%	2.2%
平成19年3月期中間	42,042	558	42,601



# 平成20年3月期中間決算業績概要(3)

## 地域別売上高

(単位:百万円)

	米州	欧州	アジア	日本	合計
平成20年3月期中間	6,218	9,821	5,376	22,118	43,535
前期比(金額)	-501	1,235	545	-345	933
前期比(%)	-7.5%	14.4%	11.3%	-1.5%	2.2%
平成19年3月期中間	6,720	8,586	4,830	22,464	42,601

# 平成20年3月期中間決算業績概要(4)

## 地域別売上高 ー前期為替レートで換算

単位(百万円)

	米州	欧州	アジア	日本	合計
平成20年3月期	6,013	8,952	4,955	22,118	42,038
前期比(金額)	-707	366	125	-345	-562
前期比(%)	-10.5%	4.3%	2.6%	-1.5%	-1.3%
平成19年3月期中間	6,720	8,586	4,830	22,464	42,601

為替(期中平均レート)	1ドル	1ユーロ
平成20年3月期中間	119.33円	162.30円
平成19年3月期中間	115.38円	145.97円

# 平成20年3月期中間決算業績概要(5)

## 所在地別セグメント営業利益

(単位:百万円)

	米州	欧州	アジア	日本	消去	合計
平成20年3月期中間	-278	165	379	2,215	-201	2,279
前期比(金額)	-141	-11	-9	639	-477	-0
前期比(%)	-	-6.3%	-2.3%	40.5%	-	-0.0%
平成19年3月期中間	-137	176	388	1,576	276	2,280

(注)アジア代理店向けは日本に含まれます

# 平成20年3月期中間活動サマリー(1)

---

## ■直販力の強化および的確な販売店支援の実施(国内)

- 直販営業力の販売店への伝播
- 直販マネージャー教育の強化

## ■海外販売子会社の活性化と体質転換

- 米国子会社再構築推進
- 欧州子会社管理体制強化

# 平成20年3月期中間活動サマリー(2)

- 孔版事業(リソグラフ)
  - 新規顧客の開拓



リソグラフRZ670

- 新製品投入
  - リソグラフRZ670/630
    - プリント機能とセキュリティ機能の強化
    - 平成19年8月国内販売開始
- 活動結果
  - 国内
    - 本体販売台数、前年同期実績を上回る
    - サプライ販売は減少
  - 海外
    - アジア・アフリカが牽引し、本体販売台数前年同期実績を上回る
    - サプライ販売はアジア好調も全体で減少
    - インド販売子会社活動開始

# 平成20年3月期中間活動サマリー(3)

---

- インクジェット事業(オルフィス)

- ハード設置の更なる加速

- 新製品投入

- 多機能コントローラー「ComuColor Express IS700C」発売(国内5月)
    - 「ICカード認証キット」発売(国内8月)

- 活動結果

- 国内

- インク販売およびプリントチャージ拡大

- 海外

- 欧州が好調を持続、フランスおよび英国子会社牽引



ORPHIS HC5500A/HC オフセットスタッカー/RISOスキャナーHS2000

# 平成20年3月期中間活動サマリー(4)

---

- その他のトピックス

- プリントクリエイイト事業

- パーソナルハンディースキャナ「SCAMO(スキャモ)」を発売(5月)
    - プリントゴッコ関連消耗品の価格改定とパッケージ入り数の改訂(8月)
    - 業務用マーキング市場向けクラフト袋印刷システムを発売(10月)



SCAMO beam(スキャモビーム)(左)  
とSCAMO(スキャモ)(右)



製版機RISO IP-PM670-KR(左)と  
印刷機RISO IP-PP1200-KR

# 平成20年3月期連結業績予想(1)

(単位:百万円)

		平成19年3月期 実績	平成20年3月期 予想	対前年実績差異	
				金額	%
売上高		90,863	94,000	3,136	3.5%
営業利益		5,379	6,520	1,140	21.2%
経常利益		5,139	6,170	1,030	20.1%
当期純利益		2,977	3,840	862	29.0%
連結ROE		4.2%	5.3%		
営業利益率		5.9%	6.9%		
為替レート (期中平均)	円/US\$	117.02	117.00		
	円/EURO	150.09	162.00		



## 平成20年3月期連結業績予想(2)－前提条件－

### ■ 想定為替レート

1ドル: ¥117.00

1ユーロ: ¥162.00

### ■ 為替変動によるインパクト(1円変動時/通期)

	売上高	営業利益
円/US\$	1億8,000万円	6,000万円
円/EURO	1億円	5,000万円